

新城市公共交通総合連携計画進捗状況まとめ

項目	内容	実施	経過
		状況	
運行ダイヤ	守義線のダイヤ拡充	○	H20.4増便
	守義線の運行ルート短縮	○	H20.4路線短縮（高里～くらがり）
	布里田峯線の運行ルート延長	○	H20.10路線延長（西保育園～玖老勢）
	北部線の運行ルート変更	○	H22.4一部ルート変更
実証運行	つくであしがる線の実証運行	○	H20.4実証運行、H21.4木曜ルートの変更
	西部線の実証運行	○	H20.6新設、H21.4ルート変更・減便、H22.4ダイヤ変更
	塩瀬線の実証運行	○	H20.10新設（塩瀬線、鳳来寺線の代替）
	作手線の増便	○	H20.4増便
路線廃止	鳳来寺線の廃止	○	H20.9廃止
	大和田線の廃止	○	H20.3廃止（スクールバスに移行）
	本長篠海老線臨時便廃止	○	廃止
運賃	Sバスの料金統一（200円）	○	Sバスの料金は200円で統一できた。（一部ゾーン制）
	Sバスの共通定期券創出	△	Sバス全線で利用可能な共通の回数券の創出 定期券については未実施
停留所整備	つくであしがる線バス停整備	○	新設バス停は全て設置
	作手地区乗継拠点の整備	○	作手総合支所の待合所整備、高里停留所の整備
	本長篠バスターミナル整備	×	未実施
	新城地区乗継拠点の整備	×	未実施
	バス停環境整備エリアのバス停整備	×	未実施
情報提供	乗継情報案内板の設置	×	未実施
	バス総合パンフレットの作成	○	数回作成
	バス案内チラシの作成	○	豊鉄バス作成のチラシを市内高校入学時に配布
利用促進活動	ラッピングバス導入	○	つくであしがる線、守義線、塩瀬線、北部線、西部線で実施済
意見把握	路線を守り育てる会	△	「西部線」は平成22年度以降未実施、「つくであしがる線」は休止 (つくであしがる線、西部線、布里田峯線・塩瀬線、秋葉七滝線)
	OD調査の実施		
	アンケートの実施	○	利用者満足度調査を年1回実施

新城市地域公共交通網形成計画進捗状況まとめ

方針	内容	実施状況	経過	
【方針1】 公共交通の現状を地域で共有し、地域・行政・交通事業者で公共交通網を作ります	1-1地域・行政・交通事業者で公共交通を支える体制作り	新城地区	△	ピンコロの会との継続的な意見交換
		千郷地区	○	千郷地域の足の確保検討委員会との連携
		東郷地区	○	東郷地域の足を考える会との連携
		舟着地区	○	舟着の足を考える会との連携
		八名地区	○	八名地域の交通を考える会との連携
		鳳来中部地区	×	
		鳳来南部地区	○	山吉田ふれあい交通運営協議会との連携
		鳳来東部地区	△	秋葉七滝線を守り育てる会を実施
		鳳来北西部地区	△	塩瀬線・布里田峯線を守り育てる会を実施
		作手地区	○	つくでバス運営に係る住民検討会（仮称）との連携
	1-2幹線の運行 利便向上・利用促進	田口新城線・四谷千枚田新城線	○	高校統合に伴う路線変更
		作手線	○	
		田口新城線活性化検討会	△	県、新城市、設楽町、豊鉄バス、有識者
		他の路線との乗継利便向上	○	
		観光路線としての役割強化	○	高速乗合バス山の湊号と田口新城線との企画切符を発売
		料金体系の見直し・割引運賃制度の導入	○	
		作手地域と連携した利便向上・利用促進策	○	高校統合に伴う路線変更、作手地域デマンド運行開始
		高校生の通学利便向上策	○	毎週月曜日の登校時間帯の増便運行（作手行き）
		沿線市町村と連携した利用促進策	○	豊鉄バスのバスロケーションシステム導入を支援（R2）
		小学生の通学利便向上（新豊線）	×	
	1-3支線の運行 利便向上・利用促進	地域と協働した路線の見直し	○	作手地域デマンド運行開始（R1.10～）
		地域活動交付金・地域自治体予算を活用した施策	○	東郷地域自治体予算（R2～）東郷地域自治体予算（R3～）
		パーク＆ライド駐車場の増設	○	新城市市民病院西
		もつくる新城周辺へのバス停新設	○	もつくる新城南、もつくる新城（正面）
		高校へのPR実施	○	高校生割キャンペーン
		企業へのPR実施	×	
		名古屋方面の施設・イベントと連携した市内向けPR実施	○	藤が丘、リニモ等
		周辺市町村・施設・イベントと連携したPR実施	○	カーフリーデー等
		高速バスと連携した市内モデルコースの作成	○	若者議会、相山女子大等
		1-5タクシーの運行・利用促進	高齢者及び障がい者福祉タクシー料金助成の周知強化	×
	イベントやマップでのタクシー情報の周知		○	R3バスマップに配車連絡先及び乗り場を掲載
	1-6福祉有償運送の運行		○	R2市福祉有償運送登録更新
	1-7スクールバスの運行（公共交通との役割分担）		○	各学校と協議調整しながら対応
1-8近隣市町村・交通事業者と連携した公共交通ネットワークの形成		○	長篠山吉田線（浜松市）つくでデマンド（設楽町）	
1-9乗継拠点の整備	新城駅前	○	R3.4実施（バス停設置、タクシー乗り場、案内設置）	
	作手	△	待合環境整備としてはあまり進んでいない	
	本長篠	×	駅構内観光案内版設置	
	もつくる新城	○	R3高速バス乗入れ開始。タクシー乗り場設置	
	その他	×	ダイヤ見直しは適宜実施	
1-10公共交通空白地有償運送の普及		×		
1-11代行輸送サービスの導入		×	公共交通会議設置要綱改正、運行に係る補助制度整備	
【方針2】 組織間の連携を図り、関係者と一体となって利便を向上させます	2-1高校と連携した高校生の通学利便促進	路線協議における高校生・保護者の参画	△	八名地区でのアンケート、作手地区での意見交換会
		意見交換が行える体制の構築	○	各高校へのヒアリング実施
		利用者アンケートの実施	○	各高校へのアンケート実施
	2-2観光部局や交通事業者との連携による交流人口の拡大	停留所観光案内強化・拠点化	×	
		バッカー・ジブランの策定	△	具体的なバッカー・ジブランの発売に至っていない
	2-3各種施設周辺バス停の待合環境改善		×	
		2-4健康づくりと連携した利用促進の実施	×	
	2-5高齢者の運転免許自主返納を促進する施策の実施	免許返納支援	○	Sバス及び山の湊号回数券、タクシー券（選択制）
警察と連携 交通事業者		△ ○	地域ごとチラシ等一部掲載	
2-6交通バリアフリー化の推進	バリアフリー車両の導入	△	事業者の自主導入あり	
	バス停位置の見直し	△	地域、行政、事業者での検討（上大草）	
【方針3】 地域に愛され、「利用したくなる」公共交通を作ります	3-1バス総合マップの改善	△	毎年度作成	
	3-2「マイマップ」の提供	△	10件作成	
	3-3検索サイトへのSバスのダイヤ情報掲載	○	GTFSデータの活用	
	3-4バス乗車体験イベントの実施	○	新城軽トラ市、夏休み小学生50円バス、謎解きゲーム等	
	3-5バス乗り方教室・出前授業の実施	○	各地域協議会、行政区、団体等を対象に実施	